

「道の駅」整備事業 事業説明会 会議録

日 時 平成 30 年 1 月 21 日（日） 午前 10 時から午前 11 時 30 分まで

場 所 日進市中央福祉センター2 階多機能室

参 加 者 42 名

事務局（説明のため出席した職員の職氏名）

遠松誠（建設経済部長）、宇佐美博（建設経済部次長兼道路建設課長）、高柳秀史（同課課長補佐）、清水幸敬（同課用地係長）、小坂憂介（同課係員）
伊藤孝明（建設経済部特命事項支援員）、加藤博之（都市計画課担当課長）

次 第

1 あいさつ

2 事業説明

検討の経緯、計画地の概要、「道の駅」整備の基本方向（整備コンセプト、重点的に取り組むべき地域課題、利用者ニーズ調査の実施状況）、施設規模、配置計画、整備・管理運営手法、今後のスケジュール等

3 質疑応答

【説明会要旨】

発言者	内容（要旨）
【開会】(午前 10 時)	
建設経済部長	あいさつ
本郷区長	あいさつ
事務局	（事業説明） 検討の経緯、計画地の概要、「道の駅」整備の基本方向（整備コンセプト、重点的に取り組むべき地域課題、利用者ニーズ調査の実施状況）、施設規模、配置計画、整備・管理運営手法、今後のスケジュール等
質疑応答	
参加者	道の駅整備については、市民の陳情、市議会議員や市議会からの要望を受けたから、整備を進めているのか。
事務局	市民や市議会からの陳情等があり、整備を進めたものではなく、道の駅整備事業は、全国でも積極的に行われている事業であり、日進市としても「日進市人口ビジョン・総合戦略」にも位置付けられた新たな取り組みとして、将来のまちのにぎわい創出につながる重要施策であると考えて、整備を進めています。
参加者	市長のマニフェストだから進めているのか。
事務局	道の駅整備事業はマニフェストの一つで、庁内で検討を重ねた結果、将来のまちのにぎわい創出につながる重要施策と判断し、本格的に進めています。
参加者	道の駅の市民アンケートを行っているが、道の駅の要・不要についてのアンケートが含まれていない。そのアンケートを行うべきではないか。

事務局	事業の必要性については、庁内で検討を重ねた結果、日進市として必要な事業と判断しています。
参加者	本日、市長が出席していないが、今回出た意見は切り捨てるつもりか。録音は撮っているのか。報告しないのか。
事務局	記録のため録音を行っています。また、本日の報告書は作成予定です。
参加者	道の駅の整備にしても、必要ない施設がある。防災ヘリポートを設置すると言っているが、日進市でどのような災害を想定しているのか。
事務局	今回、施設検討している防災ヘリポートは、大規模災害発生時に利用するためのもので、公園・広場との兼用施設を考えています。想定する災害としては、日進市は南海トラフ地震の防災対策推進地域に指定されていることから、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害を想定しています。
参加者	山間部ならともかく、日進市みたいな平地でヘリコプターによる輸送を想定する必要はない。
事務局	災害発生時の人命救助活動には必要と考えます。
参加者	消防署にも防災ヘリポートがあるのに、なぜ必要なのか。防災ヘリだと、大きなサイズを想定しているのではないか。日進市で、そのような防災ヘリが必要なほど、大災害なんか起こらない。
事務局	日進消防署には防災ヘリポートはありません。災害時に必要な防災ヘリの規格は中型機ですので、中型機を想定しています。
参加者	日進市で、そんな大規模災害は起こるのか、と聞いている。
事務局	起こりえると考えています。日進市地域防災計画においても、大規模災害を想定し、さまざまな備えや整備を進めています。
参加者	それでは、そういう風にしろと国に決められている、ということだな。
事務局	先ほど申し上げましたとおり、日進市は南海トラフ地震の防災対策推進地域に指定されております。必ずしも発生するとは申し上げられませんが、準備は必要だと考えています。
参加者	市内を見てみる。道路はどこでもつながっている。三本木程度の低い丘陵地しかない。物資をどこに運ぶのか。ヘリの想定なんか必要ない。
事務局	防災ヘリポートは、必ずしも物資輸送のためだけではなく、人命救助活動部隊と連携して傷病者の搬送もありえます。道路についても、電柱の倒壊など、道路が寸断される可能性もあり、車両での移動ができない場合も想定されます。
参加者	市内はどこでも、道路でつながっていて通り抜けられる。そんな想定をする必要はない。
事務局	行政として「多分大丈夫だろう。だから、準備をしない」ということはできません。あらゆる可能性を検討して、防災体制を整えていく必要があります。
参加者	話を変えるが、子育て支援についても同じだ。わざわざ人を集めなければならない理由が分からない。本当に必要な施設なら、保健センターにでも作ればよい。福祉会館だって、市内に6館ある。田園フロンティアパーク構想についてもそうだ。市民農園の利用は、本郷とあと1箇所くらいが全部埋まっているだけで、ほかの農園は空き区画ば

	かりと聞いている。田園フロンティアパークの農園を移転して、そこに防災ヘリポートを整備すればいい。
事務局	まず一点目ですが、道の駅の防災ヘリポートは常設型での整備ではなく、非常時における利用を想定したものです。平常時の道の駅の機能を災害時に活用できる兼用施設ですので、田園フロンティアパーク本郷農園を移転して整備する必要はないと考えます。 二点目、市民農園の利用者についてですが、一部空き状況があると聞いています。それについても、農業担当では課題分析を行っていて、市街地から離れた、市北部や市東部の農園については、利用者は主に車での移動となりますが、駐車場がありません。そのため農園利用のニーズはあるものの、移動に不便であることから、そちらの農園は利用されにくい、と聞いています。 三点目、保健センターと福祉会館についてですが、既存ストック・既存施設との調整は重要な視点と考えています。当然、今あるもので充足できるものは、そちらで解決していくものと考えています。その中で、資料にありますように、市の子育て支援担当に寄せられている市民の声の中にも「広い駐車場のある子育て支援施設」という要望もあります。道の駅のメリットの一つには、広い駐車場を備えていることがあり、道の駅に子育て支援の機能を持たせることは、保健センターや福祉会館などとは別の視点から必要な施設と考えています。
参加者	いろいろ言うが、トイレのために道の駅を整備するのか。市民であれば、自宅に帰るのに、そんなに時間は掛からない。三本木でも赤池でも、20分あれば帰ることができる。
事務局	道の駅は、日進市民のためだけの施設ではなく、幅広く道の駅を訪れていた方々にご利用いただくものです。当然、道路利用者のための環境整備という目的もありますので、休憩機能としてトイレ施設を整備します。
参加者	だったら、市の税金だけでなく、国や県のお金も整備に入ってくるのか。
事務局	駐車場やトイレ施設といった休憩機能などの部分は、県との一体型整備を想定していますので、そのようになります。ただ、現時点では具体的な施設の詳細は、今後の設計段階で決まっていきますので、市の負担はいくら、県の負担はいくらといった、具体的な分担は、今後、調整を行い詰めていくこととなります。
参加者	その金額割合が決まってから、整備を進めた方がよいのではないかな。
事務局	そのためには、基本となる計画から進めていかなければ、事業費の部分はなかなか決まっていきませんので、現在、その基本計画を作成しているところです。
参加者	施設の内容について、自然エネルギーの部分が触れられていないが、これからの時代、自然エネルギーは必要だと思う。例えば、太陽光発電などを取り入れるなど。24時間営業だと、かなりのエネルギーを使用すると思われる。災害発生時の備えとしても、蓄電が必要と思う。自然エネルギーを大いに取り入れてもらいたい。
事務局	自然エネルギーの活用は、今の時代、非常に重要なことであり、大切なことだと思っています。基本計画(案)の中で、具体的な記載はしていませんが、設計の段階において検討していくことは想定しています。ご意見のありました、太陽光発電を利用した蓄

	電や自家発電、散水やトイレなどの雨水利用といった環境への配慮は検討していきたいと考えています。
参加者	災害発生時には、救助部隊は瀬戸大府東海線を通ってくる。長久手方面からか豊明方面からかは別として、重要な路線である。市内を南北に通る抜ける片側2車線の道路は、瀬戸大府東海線しかない。救援部隊が来ても、しっかりと活動ができるよう、十分な広場を確保して整備してもらいたい
事務局	防災体制の充実は、重要な課題と考えていますので、貴重なご意見として承ります。
参加者	現在、瀬戸大府東海線は渋滞することが多い。白山交差点から渋滞につながることもある。計画地南側の道路について、右折帯がない。迂回する車も増えると思うが、どのように考えているか。
事務局	以前に行った本郷区からの聞き取りでも、渋滞への懸念はご意見いただきました。現状よりも混雑を悪化させることがないよう、交差点改良なども、今後の設計段階でも配慮しながら進めていきたいと考えています。そのためには交通量調査なども必要になってくるとおっしゃいますので、そのあたりの手法や進め方を含めて、渋滞対策を検討していきたいと考えています。
参加者	くるりんばすのバス停設置について説明があったが、現時点では計画変更したばかりなので難しいのは理解しているが、将来的には、バス路線の1/2または1/3を持ってくることは、検討を進めてもらえるか。
事務局	くるりんばすについては、ご意見のとおり、昨年度に計画変更したばかりですので、現時点では難しいですが、「くるりんばすを道の駅の敷地内に入れることができる」といって意見がありましたので、今後、くるりんばすの検討委員会において検討していただく方向で調整していきたいと考えています。
参加者	本日の説明会において、道の駅ができた際のメリットを説明していただいたが、行政として道の駅整備に伴うデメリットを、どう捉えて、どう対応していくのか、聞かせてもらいたい。
事務局	本郷区に対しては、交通渋滞、通り抜け車両が増える可能性、また人が集まってくる施設であり、夜間も利用できることから防犯対策の必要性などは、デメリットといえる部分と考えられます。 防犯対策については、防犯カメラの設置など、今後、設計の段階でも検討していく予定でありますし、通り抜け対策については、運転手のモラルやマナーにかかる部分が大きいので、対応が難しい部分がありますが、状況を確認しながら、警察や市の道路管理者と協力しながら、必要に応じて対応していきたいと考えています。交通渋滞については、瀬戸大府東海線からの出入りを誘導するような案内看板の設置、道の駅の敷地内に滞留できる滞留長を設けるなどの対策などを検討していく予定です。
参加者	農業振興にかかる部分について、計画地周辺でも営農している人たちがいる。それに対して、どのように考えているのか。例えば、においの問題、草刈に伴う野焼きによる煙の問題、道の駅ができることで、それらは苦情扱いとなり、農作業へ支障を及ぼす可能性がある。行政は、どこまで課題として認識して検討してきたか、教えてもらいたい。
事務局	営農の支障という視点では、優良農地の保全、集団農地の形成など、大枠の土地

	利用の観点からは検討し、土地選定を行っています。瀬戸大府東海線の東側ではなく西側を選定しているのも、そうした観点を含んでいます。しかしながら、ご意見のように、個別の営農作業に対する支障については、申し訳ありませんが、想定していませんでした。
参加者	大枠の視点で計画を進めるのは構わないが、もっと具体的にデメリットを吟味して、対策まで講じてもらいたい。そうしなければ、計画地周辺で農業することができなくなる。例えば、野焼きの煙が道の駅に流れていった場合、どのように対応するのか。そういったことまで考えるべきであり、落とし込む必要がある。
事務局	そうした細かい部分まで検討していく必要があるのは、ご意見のとおりではありますが、例で挙げられた煙の問題などは、現時点では想定できていませんので、今後の検討課題とさせていただきます。
参加者	今の参加者の発言は、非難ではなく、「こうした問題があるので検討してもらいたい」という意見であり、よりよい方向に進めてもらいたいとの意見として捉えてもらいたい。
参加者	例えば、計画地北側の農地で農業を行う場合、何らかの影響が生じる可能性がある。そうしたことを、行政としてどう考えていくのかという意見であると捉えてほしい。ただ、今はそこまで想定していなかったということであれば、今後、十分に検討してもらいたい。
事務局	今のご意見については、真摯に受け止めさせていただきます。
参加者	渋滞対策についての意見だが、地域住民としての渋滞の弊害ではなく、道路利用者にとって渋滞は非常に大きな損失である。例えば、沿線にあるセブン・イレブンに入る車両でも、多少の渋滞を招いている。その渋滞の影響は、金額的な損失につながっている。私としては「ここまでしかできない」ではなく、行政には専門家として、できるかぎりよい方向で提案いただけるよう期待したい。瀬戸大府東海線は、皆さんが言うように渋滞している。ぜひお願いしたい。
参加者	交通安全の面だが、計画地周辺は学生の通学路となっている。裏道となっている生活道路も利用されている。そのあたりの対策や整備を検討してもらいたい。また、道の駅での集客を考えていると思うが、スマートインター事業、東郷町やみよし市でも集客のための事業が検討されている。そのあたりも、今後の検討に加味した方が良いと思われる。
事務局	貴重なご意見として承ります。
参加者	現在、JAにおいて産直販売を行っており、生産者も出品している。生産者からの産直施設のニーズというのはあるのか。「販売物があるのか」ということが心配である。
事務局	産直施設については、実際に生産者から「産直施設を作ってほしい」という声を直接いただいた訳ではありませんが、全国的に見ても、ほとんどの道の駅に置かれている施設となっています。そうした状況も踏まえて、日進市でも農産物直売という言葉に記載しています。 JAとの関係については、さまざまな「道の駅」の事例を研究してきましたが、JAの産直施設と道の駅の産直施設が共存している事例もありますし、JAが道の駅を運営している事例もあります。ただ、実際にどのような管理運営にしていくのか、どの事業者が指定管理者となるのかは、これからの検討事項であるので、今後も産直施設も含

	めて検討を進めていきます。
参加者	以前、本郷区において出前講座を実施した時は、「現時点では候補地なので、決定ではない」との回答だった。その際に「今後、本郷区に決定する際には、区に説明してもらいたい」とお願いした。しかし、今回が初めての説明会であり、時間が経過したため、皆さんからこうして多くの質問が出ることになる。これは本郷区の意見を聞いていない意味でもある。説明がないと、本郷区民は心配を抱えていく。 尾張東部地域は道の駅の空白地帯と言っているが、裏を返せば「なぜこの地域にはできなかったのか」ということでもある。道の駅というのは、ドライバーの休憩施設が第一の目的である。日進市道の駅整備検討委員会の検討委員には学識経験者もいるが、その人たちは経験や専門的知識をお持ちなので、一般的なアドバイスはできると思うが、日進市のことをどれだけ知っているのか。日進市に合った道の駅を作るためには、日進市のことを、本郷区のことをどれくらい知っているか、が大切である。検討委員会には、本郷区からは区長一人である。では、本郷区の意見はどのように反映してもらえるのか、そうした心配があるから、こうした質問が多く出ることになる。 事業費についても、第3回の検討委員会では「建築物の設計ができていないので出せない」と回答していた。今回、概算事業費11億円～16億円とのことだが、本来は事業費があって建築設計ではないのかと、個人的には思う。 災害の防災ヘリポートについて、本当か分からないが、計画地は河川の氾濫で浸水すると聞いた。そういうことも検討の際に考えてもらわないといけない。JAとの関係についても、東郷町でも道の駅整備が進められている中で、組合長は両市町の検討委員になっている。JAとしてどのように考えているか、一度聞いてみたい。個人的にJAの職員に聞くと、道の駅での販売に前向きではない。もっとアンテナを増やして、確認していかないといけない。 道の駅整備を進めるにしても、もっと検討を落とし込んで、本郷区に説明していくことで、もう少しスムーズに進んでいくのではないのかと思う。地元住民が賛成したら、一番強い味方になると思うので、そうした説明などの配慮をお願いしたい。
事務局	至らぬ点が多々あったことは申し訳ありませんでした。本郷区民への情報提供などについては、今後も行っていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。
参加者	本郷区の今の計画地に道の駅を整備するということは、決定事項か。計画が決定したので、事業に協力してもらいたいというお願いなのか、単純な中間報告なのか。
事務局	場所については、今の計画地で決定となります。
参加者	事業スケジュールについても決定事項なのか。
事務局	平成33年度開駅を目指して進めていますので、現時点としては資料の事業スケジュールとなります。
参加者	土地の形状についても、決定事項なのか。
事務局	現在、基本計画(案)のパブリックコメントを実施しており、その後、検討委員会において基本計画(案)の承認いただいた後、基本計画の策定となります。第3回の検討委員会において承認いただいています、最終決定は基本計画の策定時点となります。
参加者	今の段階では、何が決定事項なのか。計画地の南側の道路は、我々の生活道路で

	ある。我々の道路を侵害してもらいたくない。今でも、白山交差点を迂回するため、この道路を通行する人たちがいて、我々の道路が侵害されていて、どれくらい事故が起きているのか、そこを加味してもらい、幹線道路からの乗入れを検討してもらいたい。
事務局	道の駅整備及び計画地については決定しています。施設配置などについては、基本計画(案)のパブリックコメント及び検討委員会の承認を経た後に、基本計画の策定となりますので、現時点では検討途中という形になります。
参加者	道の駅整備自体が、決定事項ではないだろう。ちゃんと市議会で決定された事業なのか。
事務局	道の駅整備事業は、市の決定事項です。「日進市人口ビジョン・総合戦略」に位置付けられた取り組みであり、道の駅整備事業に関する予算も市議会で承認いただいております、その上で事業を進めています。
【閉会】(午前 11 時 30 分)	